

チームラボの水に入るミュージアム「チームラボプラネッツ」(東京・豊洲)、期間限定でアート空間が桜に変化。2020年3月1日から。
「Floating in the Falling Universe of Flowers」と
「人と共に踊る鯉によって描かれる水面のドローイング - Infinity」
の2作品が、期間限定でアート空間が桜に変化
2020年3月1日から



2018年7月の開館から1年で、世界106の国と地域から、125万人以上が来館している「チームラボプラネッツ TOKYO DMM」(東京・豊洲)は、裸足になって超巨大な作品の中に身体ごと没入していく《水に入るミュージアム》です。

「チームラボプラネッツ TOKYO DMM」ではミュージアム内の2作品が、2020年3月1日(日)から4月30日(木)まで期間限定で春の装いとなります。近隣では、豊洲市場や江戸前場下町のオープンにより、新鮮な食材を活かした食体験や、日本文化を感じることができるお土産を集め、買い歩きも楽しめます。

■桜のアートが公開される2作品

時間と共に刻々と変化しながら花々が咲き渡り、生命の宇宙が空間に広がる作品「Floating in the Falling Universe of Flowers」が、今の時期だけ桜が空間に広がります。

加えて、来場者が裸足になって水の中を歩く作品「人と共に踊る鯉によって描かれる水面のドローイング - Infinity」では、無限に広がる水面に鯉が泳ぎ、鯉は人々にぶつくと、桜に変化し散っていきます。一年を通して、咲いていく花々は季節とともに移り変わります。

展示詳細: <https://planets.teamlab.art/tokyo/jp/>

チームラボプラネッツ ハイライト動画: <https://youtu.be/VN56tekZzEc>

【本件に関するお問い合わせ先】株式会社 PLANETS

取材について <https://goo.gl/forms/fqn8DmGV8WWIntP53>

その他について <https://goo.gl/forms/xPwQUUNIMQkycAqP2>

《超巨大なアートに、他者と共に、身体ごと圧倒的に没入し、一体となる》

チームラボプラネッツは、アートコレクティブ・チームラボによる、超巨大な 4 つの作品空間を中心とした計 7 つの作品による「水に入るミュージアム」。

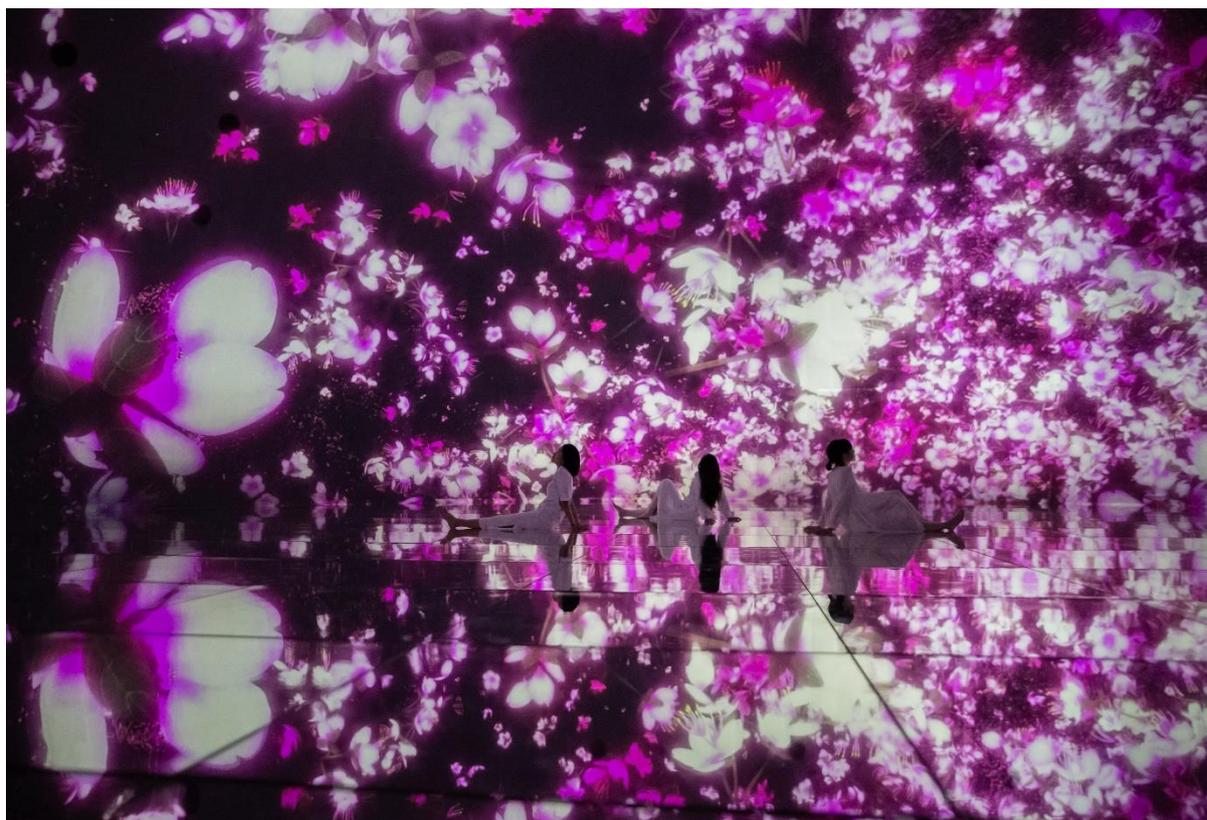
チームラボの「Body Immersive」というコンセプトの超巨大な作品に、人々は、他者と共に身体ごと没入し、作品と一体となる。そして、身体と作品との境界のない体験によって、自分と世界との間にある境界の認識を揺るがし、私たちと世界との連続的な新しい認識を模索する。

はだしとなって、超巨大な作品に、他者と共に、身体ごと、圧倒的に没入していく。

【桜に変化する作品】

Floating in the Falling Universe of Flowers

teamLab, 2016-2018, Interactive Digital Installation, Endless, Sound: Hideaki Takahashi



作品: <https://www.teamlab.art/jp/ew/fitfuof/>

作品映像: <https://youtu.be/FzJ5svgIueQ>

1 年間の花々が、時間と共に刻々と変化しながら咲き渡っている、生命の宇宙が空間に広がっている。寝転ぶ、もしくは、座ってしばらくいると、やがて身体は浮遊し、世界と一体化していこう。

人々は自分のスマートフォンで蝶を選択し投げ込むと、生命の宇宙に蝶が舞う。

作品は、コンピュータプログラムによってリアルタイムで描かれ続けている。あらかじめ記録された映像を再生しているわけではない。

花は、生まれ、成長し、つぼみをつけ、花を咲かせ、やがて、花を散らせ、枯れて、死んでいく。つまり、花は、誕生と死滅を、永遠に繰り返している。

今この瞬間の空間は、2 度と見るできない。

人と共に踊る鯉によって描かれる水面のドローイング - Infinity

Drawing on the Water Surface Created by the Dance of Koi and People - Infinity

teamLab, 2016-2018, Interactive Digital Installation, Endless, Sound: Hideaki Takahashi



作品: https://www.teamlab.art/jp/ew/koi_and_people/

作品動画: <https://youtu.be/SsRNptTOniw>

無限に広がる水面に鯉が泳いでいる。人々は水の中に入り歩く。

鯉は、水の中の人々の存在に影響を受け、また他の鯉の影響を受けながら泳ぐ。そして、鯉は、人々にぶつかると、花となって散っていく。一年を通して、咲いていく花々は季節とともに移り変わっていく。

人々の存在に影響を受けて泳ぐ鯉の軌跡によって、線が描かれていく。

作品はコンピュータプログラムによってリアルタイムで描かれ続けている。あらかじめ記録された映像を再生しているわけではない。全体として以前の状態が複製されることなく、鑑賞者のふるまいの影響を受けながら、変容し続ける。今この瞬間の絵は二度と見るできない。

<概要>

名称: チームラボプラネッツ TOKYO DMM
場所: 東京都江東区豊洲 6-1-16 teamLab Planets TOKYO
開館時間: 月曜 - 木曜 10:00~19:00、金曜 10:00~21:00、
土・祝前日 9:00~21:00、日・祝日 9:00~19:00
* 最終入館は閉館の 30 分前
* 3 月 20 日(金) - 4 月 4 日(土)は特別延長期間の為 9:00 - 21:00
* 4 月 5 日(日)は 9:00 - 19:00
休館日: 2020 年 2 月 13 日(木)、3 月 12 日(木)、4 月 6 日(月)、4 月 14 日(火)、4 月 15 日(水)
料金: <2 月・3 月・4 月入場 エントランスパス>
大人(18 歳以上) 3,200 円、大学生・専門学生 2,500 円、中学生・高校生 2,000 円、
小人(4 歳 - 12 歳) 800 円、シニア(65 歳以上) 2,400 円、障がい者割引 1,600 円
チームラボプラネッツ TOKYO DMM チケットストア: <https://teamlabplanets.dmm.com>
* 料金、開館時間に変更になる可能性があります。HP をご確認ください。
公式サイト: <https://planets.teamlab.art/tokyo/jp/>
公式 SNS: Instagram: <https://www.instagram.com/teamlab.planets/>
Facebook: <https://www.facebook.com/TL.Planets/>
Twitter: <https://twitter.com/teamLabPlanets>
#teamLabPlanets #チームラボプラネッツ
フードスタンド: 店名: Everything is in your hand(エブリシング イズ イン ユア ハンド)
URL: <https://planets.teamlab.art/tokyo/jp/foodstand>
営業時間: 月曜 - 木曜 10:00~18:00、金曜 10:00~20:00、
土・祝前日 10:00~20:00、日・祝日 10:00~18:00
定休日: チームラボ プラネッツ休館日に準ずる ※天候により一部休業の場合あり

【株式会社 PLANETS】

2017 年設立。teamLab Planets TOKYO の施設運営と管理および飲食店の経営と管理を行う。

所在地: 東京都中央区日本橋 2-7-1 東京日本橋タワー26F

代表者: 野本 巧

【チームラボ】

アートコレクティブ。2001 年から活動を開始。集团的創造によって、アート、サイエンス、テクノロジー、そして自然界の交差点を模索している国際的な学際的集団。アーティスト、プログラマー、エンジニア、CG アニメーター、数学者、建築家など、様々な分野のスペシャリストから構成されている。

チームラボは、アートによって、自分と世界との関係と新たな認識を模索したいと思っている。人は、認識するために世界を切り分けて、境界のある独立したものとして捉えてしまう。その認識の境界、そして、自分と世界との間にある境界、時間の連続性に対する認知の境界などを超えることを模索している。全ては、長い長い時の、境界のない連続性の上に危うく奇跡的に存在する。

ニューヨーク、ロンドン、パリ、シンガポール、シリコンバレー、北京、台北、メルボルンなど世界各地で常設展およびアート展を開催。東京・お台場に《地図のないミュージアム》「チームラボボーダレス」を開館。2020 年秋まで東京・豊洲に《水に入るミュージアム》「チームラボ プラネッツ」開催中。2019 年 11 月に上海・黄浦濱江に新ミュージアム「teamLab Borderless Shanghai」を開館。2020 年 3 月にマカオに「teamLab Super Nature Macao」を開館予定。

チームラボの作品は、ニュー・サウス・ウェールズ州立美術館(シドニー)、南オーストラリア州立美術館(アデレード)、サンフランシスコ・アジア美術館(サンフランシスコ)、アジア・ソサエティ(ニューヨーク)、ボルサン・コンテンポラリー・アート・コレクション(イスタンブール)、ビクトリア国立美術館(メルボルン)、アモス・レックス(ヘルシンキ)に永久収蔵されている。

teamLab is represented by [Pace Gallery](#)

チームラボ: <http://teamlab.art/jp/>

Instagram: <https://www.instagram.com/teamlab/>

Facebook: <https://www.facebook.com/teamLab.inc>

twitter: https://twitter.com/teamLab_news

YouTube: <https://www.youtube.com/c/teamLabART>